

ダウンライトの選び方

～ 自信を持って選んでますか？ ～



灯りコラム
Vol.51



【選定基準】

照明器具メーカーのカタログの中で、最も器具の種類が多い「ダウンライト」
その数、数千種類以上もあります。

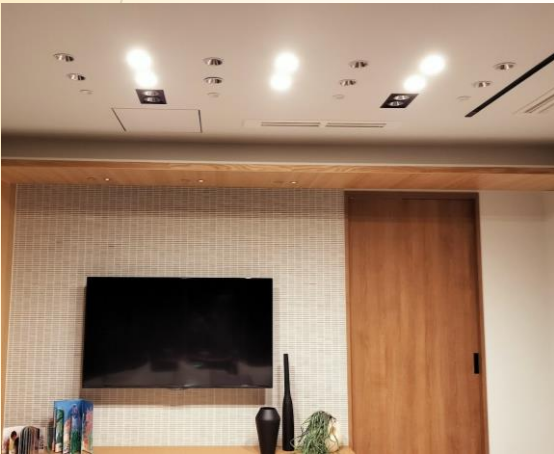
基本は、ベース・ユニバーサル・グレ
アレスの種類から
光の強さ、光の広がり、眩しさ、器具
の色、光の色、開口寸法、調光方式、
演色性の優先順位を付けて空間に合
わせて選定します。

収納スペースなど、明るさだけを重視
する時だけ価格を優先しますが、それ
以外は、その空間に適した光を考えて
器具選定します。

しかし、ダウンライトを真剣に選んだ
経験のある人が意外と少ないのが現状
なんです。ね。
では、設計士や建築事業者はどうやっ
ているのか・・・

メーカーに依頼する
自分で決める

のどちらか。



メーカーに依頼すれば、多少オーバー
スベックになったとしてもそう大きな
間違いはありません。

問題は自分で決める建築のプロ。例え
ばリビングルームに浅型のダウンライ
トをたくさん付けて「調光すればいい
でしょ！」の考え方。
施主がかわいそうです。特に高齢者と
の同居の場合、眩しくて落ち着いたり
リビングには20%なりません。

最もよくあるパターンが、予算調整の
ため照明器具を選びを見直す際に、ダ
ウンライトをダウングレードしてしま
う。
ダウンライトの選定基準を知っていれ
ば間違いは起きないけど、知らないた
めに間違いにも気が付かない。

だからこそ、しっかりとダウンライト
選定の基準を体得してください。



上のサムネイルに
動画のリンクが貼ってあります

照明計画を切り口に暮らしの提案の幅
を広げてみませんか？
インテリアを引き立てる照明術。豊かな
暮らしには、照明の効果や演出が必須ア
イテム。
こだわりの場所やちよつと自慢の場所の
インテリアに灯りのスパイスを効かせた
提案をしてみたいかがでしょうか。

info@design-akari.com

Tel : 04-7196-7142